



福岡版ユニバーサルマナー検定(案)

参考2

■目的 市民を対象とした福岡市オリジナルの検定講座の実施により、ユニバーサルデザインの理念や実践的なサポート方法等を学び、市民の助け合い行動を促進する。

■募集定員 500名

■検定料 1,000円/名
(18歳未満は500円)



福岡版ユニバーサルマナー検定

3級カリキュラム 2時間30分
(通常2時間)

■開催日程(案)

令和2年5月～12月(全10回×50名)

■特長

- ・障がいのある当事者による講義
- ・福岡市のUD取組み事例の演習問題
- ・街なかお助けアプリ **Mayii(メイアイ)**との連携

■事業期間 令和2年度限り

(但し、定員を超える応募があった場合、
次年度継続を検討する。)

講義 75分

- ・障害とは何か
- ・高齢者や障害のある方への向き合い方
- ・困っている人を見かけたときのお声かけ方法

(休憩10分)

演習問題 65分(通常45分)

- ・グループ演習
- (福岡市の取組み事例など)

受講者全員に認定証発行

■ねらい

(1) 助け合いの活動量の増加・浸透

障がい者や高齢者への声掛け方法など具体的なスキルを活かし、声掛け等の行動に移せる市民を確実に増やすことで、助け合いの活動量の増加・浸透につなげていく。

(2) 街なか手助けアプリ「May ii(メイアイ)」との連携

「ユニバーサル都市・福岡賞2019」で最優秀賞に選ばれた、大日本印刷㈱の開発アプリ「May ii(メイアイ)」を積極的に活用し、助け合い行動の実践機会の提供とアプリ普及の相乗効果を図る。



(3) UDの効果的な普及啓発

通常のユニバーサルマナー検定のカリキュラムに、福岡市のユニバーサルな取組み事例を取り入れることで、市民へのアピールの機会を創出し、UDの効果的な普及啓発を図る。

【参考】ユニバーサルマナー検定とは

一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会が認定する検定で、多様な人々の特徴や心理状況を知ること、ケースバイケースの適切なサポート方法を学ぶことができる。

(取得事例)

- ・英進館(全社員553名取得) ・「嵐」櫻井翔氏
- ・佐賀県武雄市(全職員361名取得) ・FFG(社員1000名)など

